

令和3年度事業報告書

【概要】

令和3年度も法人会の理念の下、適正な事業運営に努めるとともに税のオピニオンリーダーたる経営者の団体として社会全体への貢献を目指し、「税」に関する活動に軸足を置きながら、県下4単位会と一体となって以下の事業を展開しました。

【主な活動】

1. 税知識の普及と納税意識の高揚ならびに税の提言に関する事業

(1) 研修活動

研修会活動は、会員の自己啓発を支援するための最重要事業であり、多様化する会員のニーズを踏まえ、尚且つ新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら県連及び各単位会で実施しました。

[単位会別研修実施状況]

区分	開催回数			参加者数			うち税法税務研修参加者数		
	R2年度	R3年度	前年比	R2年度	R3年度	前年比	R2年度	R3年度	前年比
県連	回 8	回 6	% 75.0	人 364	人 184	% 50.5	人 190	人 107	% 56.3
富山	44	43	97.7	1,671	1,921	115.0	1,176	1,292	109.9
高岡	25	26	104.0	1,250	1,335	106.8	810	832	102.7
魚津	19	22	115.8	1,077	991	92.0	753	512	68.0
砺波	32	35	109.4	814	1,069	131.3	460	674	146.5
計	128	132	103.1	5,176	5,500	106.3	3,389	3,417	100.8

(2) 広報活動

県連、単位会のホームページの活用を図るとともに、税を考える週間には全法連提供の媒体を用いて、北日本新聞、富山新聞での広報を実施しました。
また、年間を通して北日本新聞紙上に県連、単位会の研修会及びセミナー等の開催案内を掲載し研修活動をPRするとともに、一般市民に対する研修参加を呼びかけるなど、公益性の向上にも努めています。
全法連作成の情報誌「ほうじん」や、各単位会作成の「会報誌」を通じて各種税情報等を配布し、税の広報活動に努めるとともに、令和3年12月には県連の会報誌「県連だより」第1号を発刊し、各単位会役員並びに青年部会、女性部会役員に県連活動の周知を行いました。

(3) 税の啓発及び租税教育事業

青年部会、女性部会が中心となり、租税教育事業を積極的に実施しました。女性部会が全国展開する「税の絵はがきコンクール」は、県下115校より4,472枚の応募があり、令和3年度はその中から12作品を表彰しました。県連では、各単位会が作成した税の絵はがき応募用紙と配布ツールについての支援を行いました。

[租税教育活動状況]

区分	租税教室開催回数		租税教室の実施内訳とその他の活動
	R2年度	R3年度	
県連	—	—	税の絵はがき応募用紙と配布ツール(カレンダー)の作成支援
富山	10回	15回	青年部会:13校(14回)/女性部会1校 / その他:租税教育バス1回 税の絵はがき応募用紙の作成
高岡	7回	8回	青年部会:6校 / 女性部会:2校 税の絵はがき応募用紙と配布用カレンダーの作成
魚津	16回	27回	青年部会:20校(27回) 税の絵はがき応募用紙と配布用カレンダーの作成
砺波	2回	7回	青年部会:7校(女性部会との合同開催含む)/租税教育用グッズの贈呈 税の絵はがき応募用紙と配布用カレンダーの作成
計	35回	57回	

(4) 税制改正の提言事業

税制委員を中心に税制改正に関するアンケートを実施するとともに、県連としての意見を取りまとめ、全法連に提出しました。全法連では、全国から集められたアンケートや意見を基に、「令和4年度税制改正に関する提言」を取りまとめられましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全国大会がオンラインでの開催となり、開催地会での要望の確認を行うことはできませんでした。

県連、単位会においては会長・税制委員長をはじめとする役員が、地方自治体及び地元選出の国会議員に対し、要望活動を展開しました。

2. 地域企業の健全な発展・地域社会への貢献事業

(1) 地域企業の活性化事業

コロナ禍における対応として、インターネットを利用した Web セミナーを開催しました。その他、各単位会ホームページを通じてのインターネットセミナーを配信し、地域企業の経営者、経理担当者をはじめ、一般市民も対象とした幅広い分野に亘っての情報を提供しました。

(2) 社会貢献活動

令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防対策として、富山県立障害児施設（黒部学園・砺波学園）へ顔認証付き体温測定端末2台の寄贈を行いました。その他、ACT 富山国際協力協会を通じてカンボジアへランドセルを贈る事業支援にも参加しました。

青連協事業としては、感染予防のため手洗いが日常となった今、しらとり支援学校へ子供たちが使用するハンカチの購入に充てていただくための寄付も行いました。各単位会では、ボランティア活動や寄贈事業など地域の実情に応じた様々な活動を展開しました。

3. 法人会が行う環境整備、地域社会の整備改善等の支援事業

令和3年度も、単位会が実施する公益事業を支援するため助成金を配賦し、助成金運営事業が円滑に実施されるよう事務局会議を開催するなど、単位会との連携を密に事業を展開しました。

4. 会員のための福利厚生事業

法人会の福利厚生制度事業については、役員皆様の協力を得ながら提携三社との連携を密にし、単位会と合同で昨年に引き続き「紹介キャンペーン」を実施するなど、制度の普及推進に取り組みました。

5. 組織の充実強化等に関する事業

(1) 組織の充実・強化

令和4年3月末現在の会員数は7,651社、加入率は38.4%です。

区分	会員数		法人数		加入率	
	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度
	社	社	社	社	%	%
富山	3,354	3,058	8,636	8,698	38.8	35.2
高岡	2,315	2,249	5,904	5,930	39.2	37.9
魚津	1,271	1,266	3,107	3,166	40.9	40.0
砺波	1,084	1,078	2,154	2,124	50.3	50.8
計	8,024	7,651	19,801	19,918	40.5	38.4

(2) 会員交流事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のガイドラインに従い、「全国大会（岩手大会）」はオンラインでの参加、「青年の集い（佐賀大会）」、「女性フォーラム（新潟大会）」などの全国規模の幅広い交流会は参加人数を縮小しての開催となりました。その他、総会及び理事会等開催時の意見交換会はすべて中止としました。